

宝の箱



お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長

前号の月刊リトルマ
マ新聞Vol.166に
慶應義塾大学准教授の
皆川先生が寄せられた
「発達障がい」についての
解説を拝見し、勝手な
感ずけれど、とても共
感させてもらいました。

とくに「発達障がいは
コミュニケーション障がい。
注意をそらさないよう
に的確な言葉がけをし
て、五感を使ったコミュニ
ケーションを積極的に進
めることが大切な対応
方法です。これは一般の
子育てにも通じます。
『トラブル回避』と『個性
の尊重』を両立しながら、
充実した子育てをし
ていきたいですね」とい
う提案には「そうですね！
声が出てしまいうるや
なりました。」

わたしたちの診療室
にも、発達障がいと診断
された子どもたちが来
てくれます。でも、特別
な対応をしているわけ
はありません。もちろん
十分に『トラブル回避』の
配慮はしますが、基本
的には同じ対応です。た
とえば、集中を妨げるの
で診療室にも、待合室に
もテレビやビデオはあり
ません。そのかわり、五
感を使うために絵本を
活用しています。
笑顔で話しかけて、褒
めて、手鏡でみてもらっ
て：コミュニケーションに
大切なのは、その子ども

についてどれだけのこと
を知っているか、だと思
います。そのために、食事
の好みや興味があるこ
と、将来何になりたい
か、それからこんなこと
しちやいました。なんて
エピソードなど、いろん
なことを記録用紙に書き
留めています。

なかでも、いちばん大
切にしているのは名前
呼び方です。名前は「こ
ういう人になつてほしい」と
いう願いが込められ
た、個性を代表するもの
です。また、小さいころは
「○○ちゃん」がよかつた
けれど、大きくなつたら
「○○さん／○○くん」
と大人と同じように対
応してほしい、というこ
とがあつたとしても成長
に応じてどういふ呼
び方をすればいいか本人に
確認することで、子ども
の意思を尊重できます。
わたしたちは、大切な
ことがいっぱいあつたこ
の記録用紙を「ホスピタ
リティーの宝箱」と呼ん
で、すべてのスタッフが目
を通します。つまり、そ
の子のことは、みんな
知っているわけです。

皆川先生がおっしゃる
ように、子どもたちの可
能性は無限大です。わ

情報クリップ

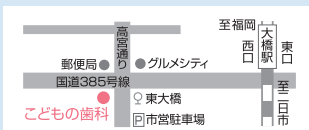
待合室にて絵本を楽
しむ「元気わくわく
おはなし会」を毎月
開いています。
くわしくは、ホーム
ページをご覧ください。
受付または同
書までお問い合わせ
ください。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:30
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任



福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
〈市営 大橋駐車場をご利用ください〉

☎092(551)8080
ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

